

マスク

2022. 10. 3

コロナ禍になるまでは、マスクをしたことなどほとんどなかった。給食当番のときぐらいだったように思う。加えてかぜもひかない。

マスクと言えば何色だろうか。一般的には、まず白色が浮かぶ。他には黒色だろうか。コロナが始まる前は、黒色のマスクをしている人は特定の人だった。そこにはある傾向が見られた。それがどうだろう。コロナとともに黒マスクが解禁となった感がある。

学校では、白色マスクが圧倒的多数派である。黒色マスクは、まだまだ少数派である。生徒は何も言われなくても節度をもって行動しているということか。大人はいうと、実に様々なマスクが世に出てきたことに合わせて、さながらマスクのファッションショーである。柄が多彩である。材質の方は、今では不織布がメジャーとなってきている。

コロナ前に、中学生や高校生が学校に黒マスクをしてきたら、どうなっていたらだろうか。何かしらのご指導があったに違いない。それはなぜか。風紀が乱れるのか。見た目がよくないのか。中学生らしくないのか。高校生らしくないのか。生徒指導上、心配な生徒に限って黒マスクをしてくるから問題なのか。指導する側には、何かしらの判断基準があるはずである。

コロナ禍となり、状況は一変した。マスクの色がどうだこうだと言ってられなくなった。7月に本校の3年生が東京方面に修学旅行に行った。黒マスクが増えるのかと思っていた。2日目は私服で行動する。出発の朝を迎えた。見たところ全員が白色マスクである。事前に指導があったのかと思いきや数名の黒色マスクを発見した。ということは、何も言われなくても、自分で判断して白色マスクにしたということである。

学校で見かける黒色マスクは、コロナ前よりも明らかに増えている。そのために何か起きたかと言えば、何も起きてはいないだろう。以前の黒マスクへの心配は何だったのだろうか。とはいえ、中学生の黒マスクは、いい感じがしない。教員根性が染みついているせいだろうか。高校入試の日に、黒色マスクで会場に行く生徒がいるだろうか。きっといない。100%白色マスクだろう。時代は変わっても白色は無敵である。

普段は白色の不織布マスクをしている。試しに黒色マスクを買ってみた。週末に使ってみた。家人に言われた。紺色の方がおしゃれだと。それで紺色マスクを探した。なかなか見つけれない。仕方なくネットで購入した。というわけで、週末は紺色マスクが多い。

学校の先生の中でも、一時期は多種多様な柄のマスクを見ることができた。それが今では、白色の不織布マスクが主流となっている。落ち着くところに落ち着いてきたということか。やっぱり学校の先生たるもの白色が当たり前ののだろうか。

マスクの色も気になるが、もっと気になるのは、生徒の顔がわからないということである。これは苦しい。目は口ほどにものを言うとはいえ、やはり笑顔いっぱいの表情を見たいものである。